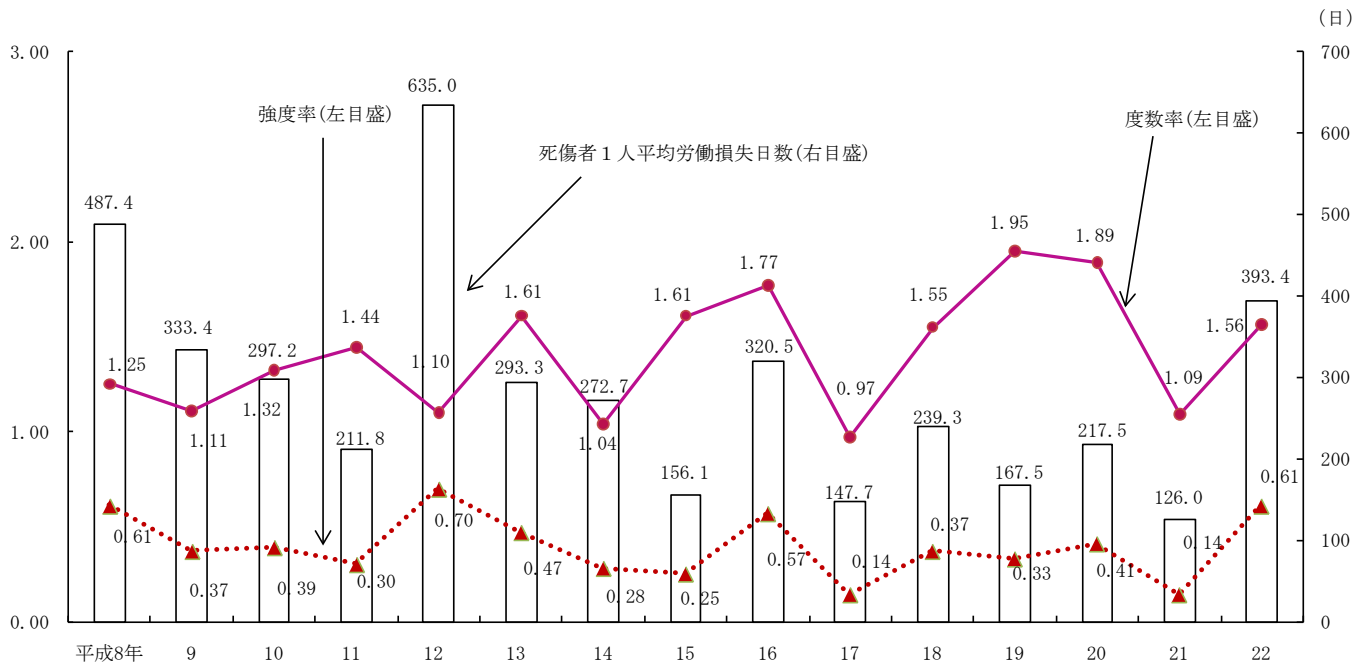


## 2 総合工事業調査

平成 22 年の労働災害の状況を総合工事業で見ると、度数率が 1.56(前年 1.09)、強度率が 0.61(同 0.14)となり、死傷者 1 人平均労働損失日数が 393.4 日(同 126.0 日)となっている。前年と比べ、度数率及び強度率が 0.47 ポイント上昇し、死傷者 1 人平均労働損失日数が 267.4 日増加している。(第 3 図、第 3 表)

工事の種類別にみると、土木工事業の度数率が 1.19(同 1.42)、強度率が 0.13(同 0.34)、建築事業の度数率が 1.67(同 1.05)、強度率が 0.76(同 0.11)となっている(第 3 表)。

第 3 図 労働災害率及び死傷者 1 人平均労働損失日数の推移  
〔総合工事業〕



第3表 総合工事業における労働不能程度別労働災害率  
及び死傷者1人平均労働損失日数

産 業（工事の種類）	度 数 率								強度率	死 傷 者 1 人 平 均 勞 働 損 失 日 数（日）	
	計	死 亡	永 全 不	久 勞 働 能	永 一 部 不	久 勞 働 能	一時労働不能				
							計	休 業 8 日 以 上			休 業 4 ～ 7 日
<b>D06 総合工事業</b>	1.56 (1.09)	0.08 (0.01)	0 (0)	0.04 (0.01)	1.44 (1.07)	0.68 (0.62)	0.10 (0.03)	0.66 (0.42)	0.61 (0.14)	393.4 (126.0)	
067 土木工事業	1.19 (1.42)	0.01	0	0.06	1.12	0.47	0.11	0.54	0.13 (0.34)	105.4 (237.5)	
0671 河川土木工事業	1.00	0	0	0	1.00	0.60	0	0.41	0.01	13.8	
0672 水力発電施設等新設事業	0.78	0	0	0.16	0.62	0.47	0	0.16	0.05	58.2	
0673 鉄道又は軌道新設事業	0.58	0	0	0	0.58	0.58	0	0	0.03	48.5	
0674 地下鉄建設事業	0.91	0	0	0	0.91	0.91	0	0	0.06	70.1	
0675 橋りょう建設事業	2.31	0.05	0	0.12	2.14	0.86	0.23	1.06	0.42	183.5	
0676 ずい道新設事業	0.23	0	0	0.05	0.18	0	0.05	0.13	0.00	13.8	
0677 道路新設事業	1.08	0	0	0.15	0.93	0.27	0.06	0.60	0.01	6.2	
0678 その他の土木工事業	0.85	0	0	0	0.85	0.38	0.07	0.40	0.02	20.3	
0679 舗装工事業	1.05	0	0	0	1.05	0.27	0.27	0.51	0.02	18.2	
068 建築事業	1.67 (1.05)	0.10	0	0.04	1.54	0.75	0.09	0.70	0.76 (0.11)	455.7 (104.0)	
0681 建築工事業	1.76	0.10	0	0.03	1.63	0.80	0.10	0.72	0.83	468.5	
0682 その他の建築事業	0.82	0.02	0	0.08	0.72	0.24	0.04	0.45	0.16	201.8	
(参考)調査産業計（総合工事業を除く）	1.61	0.00	0.00	0.01	1.59	0.98	0.20	0.41	0.09	55.5	

注：（ ）内は前年（平成21年）の数値である。